

食料品製造業労働災害防止連絡会議を開催しました！

令和6年2月8日、相模原市立産業会館にて、相模原労働基準監督署、厚木労働基準監督署の共催による「食料品製造業労働災害防止連絡会議」を実施し、多数の事業場の皆様にご参加いただきました。

相模原労働基準監督署及び厚木労働基準監督署から、労働災害発生状況等についてご説明したほか、相模原市健康福祉局保健衛生部中央保健センターの保健師である杉山様をはじめご担当様から「労働者の健康づくりー骨粗しょう症の予防についてー」の題目でご講演いただきました。

また、参加者の皆様から自社での行動災害防止に係る取組について発表いただき、他社の取組について参加者の皆様から質問がなされました。

当連絡会議の内容を聞いた参加者から、自社で今後こんな取組を実施したいという声も聞くことができました。

食料品製造業をはじめ、転倒災害は全業種に渡って多発しています。転倒災害防止対策として段差の解消等のハード対策に加えて、ソフト対策として、個々の労働者の転倒や怪我のしやすさへの対応として転倒リスクチェックの実施とその結果を踏まえた運動プログラムの導入、(特に高年齢女性に対して)市町村が実施する「骨粗しょう症検診」の受診を勧奨すること等が、第14次労働災害防止計画において具体的取組としてあげられていますので、実施を検討されてはいかがでしょうか。

